

主な導入製品

■リアルタイムグラフィックス
XPression CG+Tessera

■スポーツグラフィックス
PIERO

■プロダクション・スイッチャー
Acuity

■ルーティング・スイッチャー
Ultrix



■ ROSS Video社

カナダのオンタリオ州イロコイに本社を置くROSS Video社は、オンタリオ州オタワに研究開発施設を運営し、ニューヨーク州、英国、オーストラリア、シンガポールにオフィスを構えています。

■ 事業内容

Rossソリューションは、Eurosport、BBC World、SKY、Yahoo!、そして国際的なeスポーツ大会などの視聴者とマーケティングパートナーに感銘を与えています。ROSSは、カメラ、リアルタイムモーショングラフィックス、プロダクションスイッチャー、ロボットカメラシステム、拡張現実/バーチャルスタジオ、ビデオサーバ、インフラストラクチャとルータ、ソーシャルメディア管理、ニュースルームシステム、ライブイベント制作サービスなど、比類のない製品とサービスを提供しています。

<https://www.rossvideo.com>

Introduction

ファン体験の限界を押し広げる

革新を追求する姿勢を持つヒューストン・ロケッツは、最高水準の映像制作ソリューションを必要としていました。

2003年にトヨタセンターが開業して以来、NBAのヒューストン・ロケッツはゲームデベロップメントの分野におけるリーダーとして高く評価されてきました。情報表示・エンターテインメント協会（IDEA）の殿堂入りメンバーであり、スコアボード運営の先駆者でもあった故ダグ・スワン氏の指揮のもと、ロケッツは細部への徹底したこだわりと絶え間ない革新によって、その名声を築き上げました。

その伝統は現在も受け継がれています。ロケッツのプロダクションチームは、ゲーム演出の基準を何度も塗り替えてきたことでリーグ全体から高い評価を獲得しています。その結果、ロケッツはNBAエンターテインメントの最前線に立ち続けており、最先端のテクノロジーと創造性を融合させることで、会場の観客だけでなく自宅で観戦するファンにも忘れられない体験を提供しています。

The Challenge

競争の激しいリーグで最前線を維持するために

ロケッツの旧式な設備は制作業務の足かせとなっており、グラフィックス表現にも限界がありました。

ヒューストン・ロケッツのコントロールルーム設備は老朽化が進み、現代の映像制作に求められる要件に対応することが難しくなっていました。従来のシステムではコンテンツ制作ワークフローが煩雑になり、柔軟性にも欠けていたほか、試合中の重要な局面では信頼性への懸念も生じていました。

トヨタセンターをロケッツの試合観戦における最高の目的地であり続けさせるためには、会場での体験をこれまで以上に壮大で、鮮明で、魅力的なものへ進化させる必要がありました。

ロケッツが直面していた課題は、大きく2つありました。

■ モダン化（近代化）

ディスプレイ設備、コンテンツ管理システム、そしてPCR（プロダクション・コントロールルーム）を刷新し、複雑な制作ワークフローや、NBAの試合、コンサート、ライブイベントが年間を通じて続く多忙な運営スケジュールに対応できる環境を構築すること。

■ エンゲージメントの向上

ライブ統計データ、グラフィックス、ストーリーテリングをより高度に連携させ、競争の激しいNBA市場において他チームとの差別化を図ること。観客にこれまで以上に魅力的で印象的な体験を提供することが求められていました。

The Solution

PCR の能力向上とカスタムグラフィックスの導入

ハイパフォーマンスな制作チームにふさわしい、洗練された高性能プロダクション基盤と最先端のクリエイティブ環境を実現。

Ross は、地域のシステムインテグレーターと連携し、ヒューストン・ロケッツのコントロールルームを全面的に刷新しました。これは単なる老朽化設備の更新ではなく、運用上のボトルネックを解消し、トヨタセンターを将来のライブエンターテインメント需要に対応できる環境へと進化させるためのプロジェクトでした。

その結果、新しい LED ディスプレイの導入と、Ross のテクノロジーを中核とした完全に近代化された PCR（プロダクション・コントロールルーム）を組み合わせた段階的なアップグレードが実現しました。

この刷新により、制作チームはよりスムーズかつ効率的にコンテンツを運用できるようになり、迫力ある映像演出や高度なグラフィックス表現を通じて、ファンにこれまで以上に魅力的な観戦体験を提供できる環境を手に入れました。

この新しい環境は、現在の運用ニーズに応えるだけでなく、将来的な技術革新や演出の進化にも柔軟に対応できる設計となっており、ヒューストン・ロケッツがこれからも NBA におけるファン体験の最前線を走り続けるための強固な基盤となっています。



Impact

ゲームデー体験を再定義

Ross のソリューションを中核とする新たなエコシステムの導入により、トヨタセンターは NBA を代表する先進的なアリーナの一つへと進化しました。この重要なテクノロジー刷新は、単に運用環境を改善しただけでなく、スポンサー価値の向上にも大きく貢献しています。

さらに、ファンがヒューストン・ロケッツのバスケットボールを体験する方法そのものを変革し、対戦チームやリーグ関係者からも注目される存在となりました。最先端の映像演出、リアルタイムデータの活用、そして魅力的なストーリーテリングを組み合わせることで、ロケッツは NBA におけるエンターテインメント体験の新たな基準を打ち立てています。

Ross のテクノロジーと世界トップクラスのクリエイティブを融合させることで、ヒューストン・ロケッツは NBA におけるゲーム演出の新たなスタンダードを築き続けています。この取り組みは、単に映像システムや演出技術を向上させるだけではありません。トヨタセンターそのものを、ファンが特別な感動を体験できる場所へと進化させています。その結果、トヨタセンターは単なる競技会場ではなく、観客一人ひとりに忘れられない瞬間を届けるエンターテインメント空間となっています。最先端のテクノロジー、迫力あるビジュアル演出、リアルタイムデータ、そして魅力的なストーリーテリングが融合することで、ロケッツはファン体験の可能性をさらに押し広げ続けています。

「スタジアム担当者の声」

“

「アリーナでのショーは、観客の想像を超えるスケールであるべきです。グラフィック、リプレイ、スタッツの一つひとつが、ファンを試合の興奮へさらに没入させる役割を担っています。」

ダグ・スワン

Toyota Center
スコアボード運営責任者

「Ross を選んだ最大の理由は、信頼性・拡張性・クリエイティビティを一体化したソリューションを提供できる点にあります。Acuity の高性能スイッチング、XPression と Tessera によるダイナミックな LED グラフィックス、そして Rocket Surgery による独自のクリエイティブ制作により、ロケッツはシームレスかつ次世代のゲームデー体験を実現するための強力な基盤を手に入れました。」

トビ・トウングル

CTI 最高マーケティング責任者 (CMO)